

コード	502040202
記入日	H26.6.5

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	森 太
担当者	山下 義孝

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川総合文化センター補強・大規模改造事業
----------	----------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50204	基本事業名称	学習基盤の整備	目コード	2
事務事業コード	5020402	事務事業名称	公民館管理運営費	細目コード	1257
関連計画		法令・条例規則等			

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1)	21,809人(H25.4.1現在)			
(対象2) 施設利用者		(対象指標2)	15,837人(H25年度実績)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・ 監理・本体工事1.0式 A=2,277.16㎡ →補強・大規模改造実施設計業務 →補強・大規模改造工事	(平成25年度) ・ 耐震補強設計・大規模改造工事 実施設計業務 1.0式	設計業務	1.0式	100%	実施業務÷ 計画業務	平成25年度
		設計業務	1.0式	100%		平成25年度
		① (達成率分析)	事業計画のとおり実施することができた。			
		補強・大規模改造工事	1.0式	0%	実施工事÷ 計画工事	平成26年度
		補強・大規模改造工事	-	-		-
		② (達成率分析)	平成26年度に計画どおり実施する。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・ 本施設は社会教育施設として、また災害時の避難場所等として重要な役割を果たすものであり、利用者の安全性・利便性の向上及び防災機能の強化を図るため耐震補強を行う。さらに、各種検査（または点検）における指摘事項の改修を図るとともに、施設が老朽化しているため大規模改造も併せて行う。		安全性・利便性の向上	-	-	-	平成27年度以降
		① (達成率分析)	施設を補強・改修することにより、利用者の安全性・利便性の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0	-			
	② 式	1.0	0		-	-	1.0			
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	137,661	9,940		11,417	9,940	126,244			
直接事業費 A	千円	136,261	9,240		10,717	9,240	125,544			
人件費 B	千円	1,400	700		700	700	700			
内 従事職員数	人	0.2	0.1		0.1	0.1	0.1			
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円	12,217	9,240		10,717	9,240	1,500			
の 県補助金	千円									
財 起債	千円									
源 内 その他	千円									
訳 一般財源	千円	125,444	700		700	700	124,744			

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	年間利用者が多い本施設にとって社会教育施設の耐震性の確保、防災機能の強化を図るためには必要不可欠な事業である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	社会教育施設としての現状を十分に把握し、実施設計に反映させることができた。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	色々な会議・集会等で住民に対し事業についての説明を行っていくことができる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	限られた人員、予算の中で事業を推進している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	経費を削減しすぎると、必要な施設改修を行うことができない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	本施設は公民館活動などの社会教育施設として利用されており年間の利用者も多く、また、災害時の避難場所としての役割も果たしており、安全で快適な社会教育環境を確保するため計画的に事業を実施するとともに事業費の削減にも努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。